

2022年4月1日

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

大災害債「Tomoni Re 2022」のグループ共同発行について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎、以下、三井住友海上）ならびに、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介、以下、あいおいニッセイ同和損保）は、今般、国内自然災害リスクを対象とする大災害債（以下、キャットボンド※1）「Tomoni Re 2022」をシンガポール※2で共同発行しました。

MS&ADインシュアランスグループは、今後も再保険やキャットボンドの適切な活用を通じて、リスク管理を強化し、経営の健全性向上に努めていきます。

※1：三井住友海上は6回目の発行、あいおいニッセイ同和損保(合併後)は2回目の発行となります。

※2：シンガポールは、補助金制度を設けるなど、キャットボンド等の保険リンク証券※3市場の活性化に取り組んでいます。

※3：保険リスクを対象とする証券化商品の総称で、資本市場を活用したリスク移転方法として活用されています。投資家は証券化商品に投資することで、一般の金融市場との相関関係が高くない、投資利回りを得ることができます。

1. 「Tomoni Re 2022」の概要

「Tomoni Re 2022」は、シンガポールに設立した特別目的会社である「Tomoni Re Pte. Ltd.」を通じて、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社から、機関投資家向けに発行したものです。

国内自然災害によって生じた損害があらかじめ設定した条件を超過した場合に、その超過額に応じて投資家へ償還予定の元本の一部または全部を、再保険金として充当します。

| | Class A | Class B |
|-------|------------------------|------------------------|
| 対象会社 | 三井住友海上 | あいおいニッセイ同和損保 |
| 発行体 | Tomoni Re Pte. Ltd. | |
| 発行時期 | 2022年3月 | |
| 満期 | 2026年3月末（期間4年） | |
| 対象リスク | 日本国内の台風・洪水リスク | |
| 発動基準 | 一災害 | |
| 発行金額 | 100百万米ドル （約120億円※4） | 120百万米ドル （約144億円※4） |
| 利回り | 担保債券の利回り+2.00%※5 | 担保債券の利回り+2.75%※5 |

※4：1米ドル=120円による換算値

※5：Class AとClass Bでは、期待損失率（損失が発生する確率）が異なります。

【仕組み】

<発行時点>



<対象災害の発生時>



2. キャットボンド発行の背景

近年、台風や洪水等の甚大な被害をもたらす国内自然災害の発生が続き、再保険市場の不透明感が高まっています。一方で、機関投資家による国内自然災害リスクを対象としたキャットボンドに注目が集まっています。

そのような中、三井住友海上ならびにあいおいニッセイ同和損保は、両社のノウハウや知見を活用し、再保険による保有リスク量の削減を図るとともに、再保険カバーの調達手段を多様化し、長期安定的なカバーを確保するため、共同でキャットボンドを発行することとしました。

以 上